安全データシート

---

1. 化学品及び会社情報

製品名	ゴールデンクルーザー ロングライフクーラント GRADE2 GREEN
製品分類	不凍液
主な用途	液冷式内燃機関用冷却液

会社名	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケミカル事業本部 技術本部
電話番号	0575-24-6171
FAX 番号	0575-46-7710

---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1(中枢神経系、血液系、腎臓)
	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H370	臓器(中枢神経系、血液系、腎臓)の障害
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ

注意書き:

安全対策	P264	取扱い後は取扱い物質と接触した体の各部位をよく洗うこと。
	P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
	P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
	P270	この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
	P271	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
応急措置	P302+P352	皮膚に付着した場合： 多量の水と石けんで洗うこと。
	P321	特別な処置が必要である。(詳細は4項を参照のこと)
	P332+P313	皮膚刺激が生じた場合： 医師の診察／手当てを受けること。

	P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
	P305+P351 +P338	眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337+P313	眼の刺激が続く場合： 医師の診察／手当てを受けること。
	P308+P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。
	P304+P340	吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P312	気分が悪いときは，医師に連絡すること。
保管	P405	施錠して保管すること。
	P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
廃棄	P501	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し，廃棄すること。

---

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 wt%	CAS No	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
エチレングリコール	92	107-21-1	2-230	75	非該当	非該当
モリブデン酸ナトリウム	< 1	7631-95-0	1-478	603	非該当 (1 種 453)	非該当

PRTR 法： モリブデン酸ナトリウム（モリブデンとして） 1%未満のため該当せず

注記 化審法 No ：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示番号
安衛法 ：労働安全衛生法
PRTR 法 ：特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律
毒劇法 ：毒物及び劇物取締法

---

4. 応急措置

吸入した場合

多量に蒸気、ミスト等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にすること。
もし呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合は、速やかに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱ぎ、皮膚に付着した液を布紙等で吸取り、石鹸水で十分に洗浄すること。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診察を受けること。
汚染された衣服は洗濯後に使用すること。
速やかに医師の診察を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で、15 分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。
速やかに医師の診察を受けること。
コンタクトレンズを着用し、容易に取れる場合は、コンタクトレンズを外し、更に洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

直ちに、医師の診察を受けること。

水で口をよくすすぐこと。

但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入した場合 咳、めまい、頭痛

皮膚に付着した場合 皮膚の乾燥

眼に入った場合 発赤、痛み

---

5. 火災時の措置

消火剤

霧状水、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、粉末、霧状の強化液

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特有の危険有害性

加熱により容器が爆発する恐れがある。

消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

大規模火災には、保護具を着用して水又は泡消火剤を使用のこと。

消火作業は風上から行い、延焼を防ぐため、周囲のタンク・建物にも放水すること。

消火を行う者の保護

適切な保護具(有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用すること。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏出液に触れないように作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

保護具及び緊急時措置

屋内で漏洩した場合は十分に換気を行うこと。

風上から作業し、風下の人を退避させること。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備すること。

環境に対する注意事項 流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収すること。

多量の場合、土のうなどで流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に吸い取ること。

着火に備えて、消火器を準備すること。

回収した廃棄物は、関係法令に基づいて処理すること。

二次災害の防止策

漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報すること。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備すること。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

指定数量以上の量を取扱う場合は、法で定められた基準を満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行うこと。

注意事項

換気の良い場所で使用すること。

安全取扱注意事項

周囲での炎、火花または高温体の使用は避けること。みだりに蒸気を発生させないこと。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
常温で取扱うものとし、その際、水分、キョウ雑物の混入に注意すること。

保管

安全な保管条件

火気、火花または高温体と接触する場所を避けること。蒸気を発生させる場所を避けること。
類の異なる危険物は同一の貯蔵所において貯蔵しないこと。
通風を良くし、蒸気が滞留しないような冷暗所に保管すること。
子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

---

7. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
エチレングリコール	設定されていない	設定されていない	TWA-STEL C 100mg/m^3

設備対策 工場内で取扱う場合は、換気が十分取れる設計にすること。

保護具

呼吸器用の保護具 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。
手の保護具 必要に応じて適切な保護手袋を使用する。
眼の保護具 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用する。

---

8. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 緑色
臭い : 溶剤臭
融点／凝固点 : < -15℃
沸点又は初留点及び沸点範囲 : > 150℃
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
（エチレングリコールとして（上限）15.3%（下限）3.2%）
引火点 : 127℃

自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7.7(30%水溶液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール／水分配係数(Log 値)	: データなし(エチレングリコールとして-1.36)
蒸気圧	: データなし(エチレングリコールとして 7Pa(20℃))
密度及び／又は相対密度	: 1.12 g/cm^3 (20℃)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

9. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件では安定
危険有害反応可能性	強酸化剤、強塩基と反応する。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	強酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物	燃焼により刺激性または有毒なガス(一酸化炭素)を発生する。

10. 有害性情報

製品(混合物)に対する有害性情報 有用な情報なし

組成及び成分物質に関する有害性

項　目	エチレングリコール	モリブデン酸ナトリウム
急性毒性(経口)	ラット LD_{50} 4,000-13,400 mg/kg	ラット LD_{50} 250 mg/kg
急性毒性(経皮)	ラット LD_{50} 2,800mg/kg うさぎ LD_{50} 9,530-10,612 mg/kg	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2B	区分 2
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	区分 2
発がん性	分類できない	区分 2
生殖毒性	分類できない	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(中枢神経系、血液系、腎臓) 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)	区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない	区分 1(全身毒性、精巣) 区分 2(腎臓)
誤えん有害性	分類できない	分類できない

11. 環境影響情報

製品に対する有害性情報 有用な情報なし

組成物質に関する有害性

生態毒性

項　目	エチレングリコール	モリブデン酸ナトリウム
水生環境有害性 短期(急性)	・魚類(メダカ)96 時間 LC_{50} > 100 mg /L ・藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) 72 時間 ErC_{50} > 1,000 mg/L ・甲殻類(オオミジンコ)48 時間 EC_{50} > 1,120 mg/L	・魚類(ニジマス)96 時間 LC50 800 mg Mo/L ・甲殻類(マミズヨコエビ)96 時間 LC50 2,650 mg Mo/L
水生環境有害性 長期(慢性)	・急速分解性であり (14 日後の BOD 分解度:90%) ・甲殻類(ニセネコゼミジンコ)の 7 日間 MATC＝4.2 mg/L	・単子葉植物(コウキクサ)の 7 日間 NOEC(生長速度) 24.7 mg Mo/L ・甲殻類(オオミジンコ)の 21 日間 NOEC(繁殖) 50 mg Mo/L ・魚類(ニジマス)の 1 年間 NOEC(致死、成長)≧17.0 mg Mo/L

残留性・分解性 有用な情報なし

生体蓄積性 有用な情報なし

土壌中の移動性 有用な情報なし

オゾン層への有害性 有用な情報なし

---

12. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

容器・包装

廃棄する際は、中身を使い切ってから捨てること。

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託し廃棄すること。

---

13. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 非該当

品名 非該当

国連分類 非該当

容器等級 非該当

海洋汚染物質 非該当

国内規制

陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

---

14. 適用法令

消防法 危険物 第四類 第三石油類 水溶性 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (エチレングリコール)

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (エチレングリコール)

3.組成、成分情報に記載

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

3.組成及び成分情報に記載

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

水質汚濁防止法

海洋汚染防止法

---

15. その他の情報

参考資料

産業中毒便覧 (医歯薬出版株式会社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)

化学物質の危険・有害便覧 (中央労働災害防止協会)

溶剤便覧

急性中毒処置の手引き

中毒ハンドブック (廣川書店)

緊急時応急措置指針[改訂第 2 版]

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版 (オートケミカル工業会)

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 (JIS Z7253:2019)

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

注意

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

[会社情報]

販売者：(株)オートピア西洋
所在地：埼玉県朝霞市膝折町2-11-60
TEL:048-458-5827